



アスンシオン通信

(番外編)

日付: 2024 年 5 月 16日 no.4

発行者: 田邊紘起

地球の反対側まで飛行機の旅

今回はアスンシオンのことではありませんが、日本からパラグアイに到着するまでのことを番外編としてお伝えします。

パラグアイに到着するまでに計3回飛行機を乗り継いだので、その時の様子をまとめてみました。

① 東京→アトランタ（アメリカ）

東京の羽田空港を出発すると12時間ほど飛行機に乗ります。地図帳で見ると太平洋を真横に横断した方が近そうですが、実際はアラスカやカナダの方をぐるりと回っていく方が距離が短くなります。地球儀で東京からアトランタまで糸を張って一番短くなるルートを調べたら分かりやすいかもしれません。写真は、飛行機の座席前のモニターに映し出された飛行ルート図です。



日本を午後5時30分ごろ出発しましたが、同じ日の午後5時15分頃アトランタに到着しました。「時差」というものが関係していて、アトランタは日本より12時間ほどあとに同じ時刻になります。そのため、日本を出発した時刻の15分前にアトランタに到着するという不思議なことが起こります。長時間の移動でとても疲れていたのですが、慣れない飛行機に緊張したのか、落ち着いて眠ることができず、何本も映画を観て過ごしました。

途中、何度も機内食が出ました。メニューは日本風やアメリカ風のものが混ざっていておもしろかったです。下の写真はチキンと焼きそばが出た時の写真です。



アトランタに到着した後は、次の出発まで4時間ほど空港の中で待ちました。

② アトランタ→サンパウロ（ブラジル）

アトランタを出発すると、ブラジルのサンパウロにある空港まで9時間ほど飛行機で飛びました。夜10時ごろ出発し、朝の7時ごろに到着しました。飛行機の座席ではなかなか眠れなかったのですが、何とか仮眠をとりました。機内アナウンスは日本語ではなく、英語とポルトガル語のようでした。

機内食は一気に南米らしいメニューになり、にんじんの多さに驚きました。このメニューは「チキン」でしたかね。



サンパウロ空港でも7時間ほど待って、現地時刻の午後2時ごろやっと次の飛行機に乗りました。飛行機までは空港内の道路を歩いて向かいました。



③ サンパウロ→アスンシオン

サンパウロからアスンシオンまでは3時間ほど飛行機に乗りましたが、時差の関係で現地時間では2時間後の到着となりました。

飛行機の中でサンドイッチと飲み物をいただきました。事前に勉強していたスペイン語で「アグア ポルファボール（水をください）」は通じました。氷を断るのに手で×のジェスチャーをしながらNOと言っても通じず、NOは指を振るのだとCAさんが教えてくれました。ジェスチャーのやり方やその意味も国が変われば違うことを実感しました。その国や地域の文化や習慣を知らないことで、現地の人に誤解されたり不快な思いをさせたりしないように気をつけなければいけないなと思いました。

パラグアイに到着して飛行機から降りると、早速日産自動車の大きな広告が出迎えてくれました。現地の人々の日本車への厚い信頼を感じました。実際アスンシオンの街中には、新車から中古車まで、たくさんの日本車が走っています！



このような長旅でやっとアスンシオンに到着しました。日本とパラグアイには12時間の時差があり、日本が午前8時の時、こちらは前の日の午後8時です。時差ボケに慣れるまでしばらく頭が驚いていました。

日本から地球の反対側にあるパラグアイまでは長い長い旅でした。到着した時は「もうしばらく飛行機には乗りたくないな。」
「日本に帰る時もこんなに乗るのか。大変だな。」と思いましたが、今は機内食を含め、空の旅はワクワクで楽しかったと感じています。皆さんも飛行機に乗る機会があれば、ぜひ機内のいろいろなサービスを楽しんでみてください。

次回について

アスンシオンは、最近かなり朝晩冷えるようになっていました。日が暮れるのも早くなり、秋という感じです。しかし、日中はまだまだ30度を超える日もあり、服装の調節が大変です。日本も記録的な暑さや大雨などで大変だとニュースで見ました。皆さんも体調を崩さないよう気を付けて過ごしてください。次回はアスンシオンに住んでいる日本人について紹介する予定です。お楽しみに。